

令和2年度 横浜市踊場公園こどもログハウス維持管理計画概要書

指定管理者 公益社団法人とつか区民活動支援協会

項 目		内 容
1 施設の維持管理体制		(1) 館長 1人 東汲沢小学校コミュニティハウス館長と兼務 (2) スタッフ 10人 常時2人体制のローテーション
2 施設の維持管理に関する考え方	設備の保守管理	(1) 定期清掃 床清掃年4回、窓ガラス清掃、壁、天井等清掃、 網戸清掃各年2回、換気扇清掃年2回 (2) 機械警備 常時 (3) 害虫駆除 全館クリーンアップ年2回、 (4) 消火器点検 年1回 (5) 電気設備点検 年1回
	施設の清掃	幼児、こどもは裸足で遊ばせることから、2名のスタッフの清掃分担、手順を明確にし、隅々まで落ちのいない清掃を行うように努めています。 Aスタッフ 掃除機をかける。テーブルを拭く。床を拭く。 Bスタッフ エントランス・玄関を掃く・拭く、下駄箱とすのこを拭く、トイレ・流しの掃除、ベランダ掃除・モップがけ、花の水遣り等
	施設の点検	幼児、こどもの安全について管理の責任を持つという強い使命感を持って施設の点検を行っています。 午前2回、午後3回の見回りを実施し、施設、遊具の安全確保を図っています。
	植栽の維持管理等その他の維持	季節を感じ心豊かになるように出入口脇に花壇を設置しています。花の種、球根は緑の協会『花やぐまち事業』から購入しています。夏の日差しを弱くするゴーヤカーテンを実施しています。 公園愛護会のじょうろを保管しています。美化活動に協力できる時は、花壇の水遣りや広場の清掃も行うようにしています。
3 施設の安全管理に関する考え方		屋内施設であることから、人と人との接触事故が予想されます。2名のスタッフのうち1名はこどもの動きを常に見守る体制をとっています。また、利用するこどもが約束事や、遊具の使い方を理解するように図やイラストを使ったパンフレットを学校に配布したり掲示したりして事故防止に努めています。事故発生時、迅速に的確に行動できるよう定期的に訓練を実施しています。

1 令和2年度の管理運営に関する基本方針について

① 設置目的

こども達が身近なところで木のぬくもりを感じ、自由に集い遊ぶことのできる新たな魅力空間としての屋内施設を公園内に設置し、こども同士の心のふれあいや創造力、表現力の向上を図る場とすることを目的に設置された施設です。(公募要項から抜粋)

② 区政運営上の位置づけ

戸塚区は「こころ豊かに つながる笑顔 元気なとつか」を区政運営方針の基本目標に掲げ、「誰もが安心して暮らせるまちづくり」の施策では、子育て支援や子どもの居場所の充実に取り組むとしています。

踊場公園こどもログハウスは、

ア 幼児やその保護者の遊びや交流の場

イ 子ども達が遊びを通じて健全に成長する場

ウ 児童・生徒の身近な放課後の居場所

であり、子育て支援や青少年の健全育成を担う地域の施設です。

従いまして、当協会は、踊場公園こどもログハウスをこの「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を区や地域との協働により実践し具現化する場と位置づけています。

③ 管理運営方針

こどもログハウスは、上記の目的等を達成するために地方公共団体が設置した公の施設で以下の事項を基本として管理運営にあたります。なお、P D C Aサイクルにより業務の見直し、改善に努めます。

ア 遊具の安全点検や見守り、館内外の安全監視や日常清掃等により、常に安全かつ衛生的な施設環境を維持します。

イ 緊急時や災害時は、利用者の安全確保及び応急処置等に万全を期します。

ウ 個人情報の保護や人権の尊重に万全を期します。

エ 施設の利用やサービスの提供にあたっては、平等・公平・公正に取り扱います。

オ ニーズや社会的要請を踏まえ、地域との連携・協働により運営します。

カ アンケートや運営委員会等様々な場面で、ニーズを把握し運営に反映します。

キ 適切な情報公開及び多様な媒体・地域の協力により積極的な広報に努めます。

ク 日常的にこまめな点検を行い、早期発見・対応により施設の長寿命化を図ります。

ケ 地方公共団体の施設として公益性・健全性・透明性を確保します。

コ 温室効果ガスの削減や市内中小企業への優先発注など市の施策に協力します。

2 令和2年度の施設の運営業務について

- (ア) 利用者へのサービスの提供
- (イ) 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方
- (ウ) 利用者会議の開催の考え方

(ア) サービスの提供

利用者に快適で楽しく、安全にログハウスを利用していただくために、次のサービス向上に向けた取組を充実します。

- ①清潔で安全・安心な空間の提供を行い、常に清潔で安全な施設を保ちます。
- ②明るく優しく親切な対応を心がけ、接遇の向上を図ります。おもてなしの心を大切にします。
- ③遊具や図書、備品等の充実を望む利用者の声に対応します。安全性や適応性に配慮しながら、予算の許す限り充実します
- ④館内秩序の維持・事故防止では、子ども達を優しく見守る一方、適宜適切に利用方法についての指導をし、誰もが楽しく過ごせる環境を整えます。また、保護者に対しても利用ルールを丁寧に説明し、安全で秩序ある運営に協力して頂き、事故を未然に防止します。
- ⑤SNSを活用して時宜に合った話題の提供や自主事業の案内・実施報告などができるようにします。
- ⑥普通救急救命講習に加え、別途子どもを救助するための救急講習を消防署にお願いして実施します。AEDの取り扱いについては全スタッフの対応が可能です。
- ⑦館内外の表示・装飾の工夫をします。利用者に温かさや親しみを感じて頂けるように、館内外の表示や装飾を工夫します。花壇の植栽管理も行い、快適で季節感のある環境を提供します。
- ⑧図書の貸出は、開館日毎日行い、読書活動推進に努めます。

(イ) ニーズの把握

- ① 地域ニーズの把握 連合町内会役員や近隣各小学校の校外委員で構成されたログハウス委員会が地域の意見や要望を把握します。また、館長が毎月定例の連合町内会常任理事会や地域の祭などに積極的に参加し、意見や要望の把握やPRに努めます。

② 利用者ニーズの把握

日頃から利用者との会話の中から、意見や要望を聞き取るようにしています。加えて、受付窓口に「感想箱」を設置し要望等を把握します。すべてに対し回答或いは対応内容を記入し、受付で常に閲覧できるように配置していきます。

また、利用者アンケートや自主事業開催時アンケートの結果を運営に反映させるととも

に、アンケートに対する回答や改善策を館内に掲示します。

③ ニーズの運営への反映

平日の午前中は、保護者と乳幼児向けにおはなし会や親子体操などの自主事業を実施し、乳幼児や保護者同士が交流できる場とします。

また、地域の青少年指導員や中高生ボランティア等と連携した「昔遊び」などの事業を実施し、世代間交流や集団遊びの楽しさを体験してもらいます。

(ウ) 利用者会議の考え方

利用者会議はありませんが、ログハウス委員会を年 3 回開き地域の声の吸収反映に努めます。

計画書様式 2 - 4

3 令和 2 年度の施設の経営について

(ア) 利用者数の目標、利用料金収入の計画

(イ) その他事業収入等（印刷機等）の計画

(ウ) 管理経費の節減計画

(ア) 利用者数の目標、利用料金収入の計画

年間 48,000 人（月 4,000 人）の利用者を目標とします。放課後や土曜・日曜に比較して、平日の午前は利用者が少ない状況です。なお、午前は乳幼児と保護者の一緒の利用が中心で、実際の乳幼児の利用数はその半分程度と認識しています。このような中、今後、より多くの方に利用して頂くために次の取組を充実します。

- ① ニーズや社会的要請に即した事業の展開（ア、子育て支援事業の充実 イ、集団体験の場・放課後の居場所づくり ウ、伝統行事・昔遊びの体験）
- ② 楽しく安全に過ごせる環境の創出（利用者が楽しい時間を共有でき、再度訪れたいと感じるような接遇を心掛けます。常に明るく清潔な館内環境の維持や、遊具の安全管理をします）
- ③ 地域の教育機関や各種団体等と連携強化（地域の様々なリソースを活用して魅力ある事業を展開します）
- ④ PR・広報の充実（ログハウスの存在や事業内容を広く周知するために、「ニャンぱく 荻だより」を発行します。更に、HP、子育て雑誌、ネット新聞、ラジオなど様々な情報媒体を通じて広報を行うとともに、ブログやSNSによる情報発信の活用を行います。）

*利用料金収入計画はありません。

(イ) その他事業収入等(印刷機等)の計画

来館利用者の少ない平日の午前中に印刷機を地域へ解放し、利用していただくことで印刷機収入を計画します。また、寄付金や助成金を活用した事業収入を計画します。助成金においては、国立青少年教育振興機構から「子どもゆめ基金」の助成を受け、円滑に自主事業を実施しています。今年度も「子どもゆめ基金」の申請をします。

(ウ) 管理経費の節減計画

- ・管理費に関わる委託契約については、競争性を高めるとともに、複数年契約など経費の削減を図ります。
- ・自主事業の材料はできるだけ廃品活用を心がけます。現在も文具は最後まで使い切るなど、少ない予算を効率的に執行しています。
- ・コピー機は使用時のみ電源を入れます。
- ・ファックス用紙は不要になったコピー用紙を使用します。
- ・来館者に呼びかけ館内のゴミの発生を最小限にとどめます。
- ・協会全体で契約している業者から安価で消耗品を購入します。
- ・館長がコミュティハウスと兼務することで、人件費を節減しています。

4 令和2年度の事業の実施について

(ア) 自主事業の基本的な考え方

(イ) 自主事業別計画

(ウ) その他の事業の実施

(ア) 自主事業の基本的な考え方

子どもたちが自分で考え、創意・工夫を加味しながらの遊びは、それが主体的な行動である限り極めて魅力的だといえます。また、仲間との遊びを通して、いろいろな感情や意欲、判断力、認識力の育ちも期待することができ、遊びは子どもたちの人格形成に大きな影響を与えているといえます。一方で、平日の午前中や週末などの時間帯には、乳幼児をつれた若い父母の姿も増えてきました。そこで自主事業の基本的な考えとして、乳幼児から青年期前期の中学生までの年齢層に偏らない自主事業を展開します。また、子育て中の父母には「子育て支援」の自主事業を行い「交流の場づくり」も行います。

(a) ニーズや社会的要請に即した事業の展開として

- ① 子育て支援事業（おはなし会、ふれあい体操など）
- ② 集団体験の場や放課後の居場所事業として（放課後工作教室、夏休みおたのしみ工作、小中学生交流のログリンピックなど）
- ③ 伝統行事を体験する事業（子どもの日イベント、七夕まつり、正月の昔遊びなど）伝統行事の体験事業では地域の青少年指導員や老人会から協力をいただきます
- ④ その他、毎年子どもたちが楽しみにしている「クリスマス会」を開催します。また、万が一の災害時に備えて、開館時間中を利用し、来館者とスタッフが協力して「災害時避難訓練」を行います。

(b) 自主事業の終了時にはアンケートを取り、事業の内容や感想、要望など参加者のニーズの把握に努め、魅力ある事業提供に努めます。

(イ) 自主事業別計画

別紙記載

(ウ) その他の事業の実施

地域の様々なリソースを活用して魅力ある事業を展開します。具体的には、地元町内会の皆さんや中高生ボランティアの皆さんの協力をいただき、世代間の交流を通して、こどもの遊びに広がりをもたせ、仲間意識を深める事業を提供します。（上記②、③）地域との連携では、「踊場地区文化まつり」への出張工作参加。「子育て相談の日」（北汲沢地区連合町内会との連携）をログハウスで開く（毎月1回）などです。

事業計画書様式 2 - 6

5 令和2年度の施設の運営体制等について

(ア) 職員の配置計画

(イ) 緊急時の連絡体制

(ア) 職員の配置計画

① 組織体制

館長1名に加えスタッフ10名を雇用し、全11人体制とします。ローテーションにより、常時スタッフ2名を配置します。また、原則として週2日、半日単位で館長が勤務しますが必要に応じ柔軟に対応します。繁忙時や自主事業実施時には、柔軟なシフトにより、必要な人員を確保します。通常時は、スタッフ2名で見守り範囲を分担し全館を目配りできるようにします。なお、引継ノートにより館長・スタッフ全員の情報の共有化を図ります。

	勤務日	勤務時間帯	一日の勤務時間	人数
館長	原則週2日	原則として 9:00~13:00 或いは13:00~17:00	原則として 4時間	—
スタッフ	全開館日 (ローテーション)	9:00~13:00	4時間	2名
		13:00~17:00	4時間	2名

② 雇用形態・業務内容

	雇用形態	業務内容
館長	常勤 週5日勤務 月給制 東汲沢小コミュニティハウス館長兼務	施設管理運営の統括 スタッフへの指導・助言 地域の団体・機関等との連携
スタッフ	非常勤 週3日又は4日勤務 時給制	受付・事故災害対応/遊びの見守り・助言/館内外・遊具の日常清掃・点検/広報・苦情への回答作成/自主事業の企画・実施/経理・庶務等の運営補助 等

(イ) 緊急時の連絡体制

- ・館長連絡先や協会事務局、区役所、医療機関、警察、消防、警備会社、土木事務所等の連絡先を電話機前に貼り付け緊急連絡体制がスムーズに運ぶようにします。
- ・館長不在時には第一報を協会事務局に報告して指示を仰ぎ、意思決定に手間取らないようにします。

令和2年度 踊場公園こどもログハウス自主事業計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額						
	②募集人数	総経費	収入		支出			
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他	
子育て支援	おはなし会 (子どもゆめ基金) 年間4回	幼児と保護者 特に定めず 0円	¥59,000	¥59,000	¥0	¥44,000	¥15,000 子どもゆめ 基金ポスター・ チラシ作成	¥0
	ふれあい体操 (子どもゆめ基金) 年間4回	幼児と保護者 15組 0円	¥49,000	¥49,000	¥0	¥44,000	¥5,000	¥0
	図書館司書のおはなし会 1回	幼児と保護者 特に定めず 0円	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	子育て相談の日 4月～3月 (8・11・12月除く)毎月1回	幼児と保護者 特に定めず 0円	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
季節の行事	こどもの日イベント (子どもゆめ基金) 5月1回	利用者 特に定めず 0円	¥40,000	¥40,000	¥0	¥35,000	¥5,000	¥0
	七夕まつり 7月1回	利用者 特に定めず 0円	¥5,000	¥5,000	¥0	¥0	¥5,000	¥0
	おどりばハロウィン 10月1回	利用者 特に定めず 0円	¥2,000	¥2,000	¥0	¥0	¥2,000	¥0
	クリスマス会 (子どもゆめ基金) 12月1回	利用者 60名 0円	¥80,000	¥80,000	¥0	¥60,000	¥20,000	¥0
	正月イベント (子どもゆめ基金) 1月1回	利用者 特に定めず 0円	¥55,000	¥55,000	¥0	¥50,000	¥5,000	¥0
その他行事	ログリンピック2019(中学生と) (子どもゆめ基金) 8月2回	利用者 40名 0円	¥55,000	¥55,000	¥0	¥50,000	¥5,000	¥0
	図書スタンプラリー (子どもゆめ基金) 11月1回	利用者 特に定めず 0円	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	おたのしみ工作 (子どもゆめ基金) 年間4回	利用者 特に定めず 0円	¥30,000	¥30,000	¥0	¥25,000	¥5,000	¥0
	壁面飾り工作 年間2回	利用者 特に定めず 0円	¥5,000	¥5,000	¥0	¥0	¥5,000	¥0
その他	ログハウス避難訓練 9月1回	利用者 特に定めず 0円	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	踊場地区文化まつり参加 11月1回	利用者 50名 0円	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
合計			¥380,000	¥380,000	¥0	¥308,000	¥72,000	¥0



2020年度 踊場公園こどもログハウス自主事業別計画書

子育て支援		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おはなし会 (読書活動推進) (子どもゆめ基金) 	(目的) ・地域ボランティアによる手遊び、読み聞かせを通して物語のおもしろさを体験する。 ・子育て中の保護者の交流の場とする。 (内容) ・0歳～未就学児童対象。親子参加。 ・手遊び、絵本の読み聞かせ、体を使った遊びをする。	年間4回
ふれあい体操 (子どもゆめ基金) 	(目的) ・親子で体を動かして楽しく遊んだり、リズム体操をすることで親子のスキンシップを図る。 ・子育て中の保護者の交流の場とする。 (内容) ・親子で体操を行い楽しく遊ぶ。 ・講師は戸塚スポーツセンターで活躍中の講師に依頼。	年間4回
図書館司書のおはなし会 (読書活動推進) 	(目的) ・戸塚図書館司書によるわらべ歌や手遊び、読み聞かせを通して物語のおもしろさを体験する。 ・子育て中の保護者の交流の場とする。 (内容) ・0歳～未就学児童対象。親子参加。 ・わらべ歌、手遊び、絵本の読み聞かせ、絵本の紹介をする。	1回
子育て相談の日 (地域協力) 	(目的) ・北汲沢地区主任児童委員と連携して、気軽に子育て相談を行う場とする。 ・子育て中の保護者の交流の場とする。 (内容) ・0歳～未就学児童対象。親子参加。 ・毎月第4月曜日 午前11:00から20分程度	毎月1回 (第4月曜日) (8・11・12月除く)

季節の行事		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
こどもの日イベント (青少年指導員の協力) (子どもゆめ基金) 	(目的) ・青少年指導員の方やスタッフと一緒に、触れ合いながらゲームなどを楽しむ。 (内容) ・輪投げ、ダーツ、スタンプラリーなどで楽しむ。 ・遊びのルールを教えてもらいながら地域の大人と交流する。	5月 1回
七夕まつり 	(目的) ・昔からの伝統的な七夕行事を体験する。 ・短冊が集まり大きな七夕飾りとなる共同力を実感する。 (内容) ・短冊に願い事を書いたり、折り紙で飾りを作る。	6月末～7月7日 約10日間
おどりば ハロウィン 	(目的) ・近隣施設と連携してイベントを行い、楽しみながら地域の施設に親しんでもらう。 (内容) ・踊場地区センター・東汲沢小学校コミュニティハウスとの同時開催で、それぞれの施設でイベントを実施する。	10月 1回
クリスマス会 (子どもゆめ基金) 	(目的) ・クリスマスイベントを通して小学生が楽しく時を過ごす。 (内容) ・今年度は、小学生向けプログラムとしてマジックショーを上演してもらう。 ・スタッフによる簡単なゲーム等で楽しむ。	12月 1回
正月イベント (青少年指導委員 地域老人会の協力) (子どもゆめ基金) 	(目的) ・青少年指導員やスタッフから昔の遊びを教えてもらうことにより、自分の遊びをさらに広げる。 ・遊びの教示を受けることにより、地域の一員であることを自覚する。 (内容) ・地域の青少年指導員の方々と交流する。 ・輪投げ、かるた遊び、けん玉、こま回し等で遊ぶ。	1月中～下旬 1回

その他行事		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ログリンピック2020 (中学生ボランティア) (放課後の遊び) (子どもゆめ基金) 	(目的) ・中学生ボランティアと一緒にゲームを通して交流する。 ・中学生ボランティアから説明や指導をうけながら、 お互いが社会性を身につける (内容) ・中学生の説明を聞いて、ゲームに参加する。 ・戸塚中学校、汲沢中学校ボランティアグループとの連携	8月 2回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
図書スタンプ ラリー 	(目的) ・読書推進期間に合わせて事業を実施する。 ・近隣施設と連携して事業を行うことにより、楽しみながら 施設の図書コーナーを知ってもらう。 (内容) ・各施設の図書室をめぐってラリーシートにスタンプを 集める。	11月 1回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おたのしみ工作 (放課後の遊び) (子どもゆめ基金) 	(目的) ・簡単な工作を行うことにより、小学生の放課後の居場所 づくりや子ども同士の交流を図る。 (内容) ・簡単な工作を用意し工作が得意でない子も満足できるよう にする。又、自由な発想で創意工夫できる材料も用意する。	年間4回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
壁面飾り工作 	(目的) ・季節の壁面飾りを利用者とスタッフが一緒に作成し ログハウスの前掲示板や室内壁面へ飾ることで、ログ ハウスへの愛着の気持ちを育てる。 (内容) ・折り紙、画用紙などを使って季節行事のテーマに沿った 大きな壁面飾りをみんなで協力して作る。	年間2回

その他

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ログハウス 避難訓練 	(目的) ・ログハウス開館中に起こるかもしれない地震や火災に備え来館者とスタッフが避難訓練を実際に経験し、いざという時に来館者を安全に避難誘導ができるようにする。 (内容) ・平日の午後、災害が起こった時を想定し、ログハウスの避難誘導マニュアルに沿って来館者とスタッフが実際に避難訓練を行う。	1回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
踊場地区文化まつり (地域協力) 	(目的) ・地域の文化活動発表の場に出かけ、出張工作を行うことによって、地域との連携を深める。 (内容) ・未定	11月 1回

(様式8)

施設名 踊場公園こどもログハウス

令和2年度 委託内容一覧

No.	委託期間	委託内容	金額(円)	業者名
1	R2.4.1~ R3.3.31	清掃	¥200,000	(株)横浜セイビ
2	R2.4.1~ R3.3.31	機械警備	¥123,000	セコム(株)
3	R2.4.1~ R3.3.31	害虫駆除	¥33,000	(株)三共消毒
4	R2.4.1~ R3.3.31	消防用設備点検	¥4,000	(株)東晃防災
5	R2.4.1~ R3.3.31	電気設備保守点検	¥33,000	(株)市川総業
6	R2.4.1~ R3.3.31	施設賠償責任保険	¥3,000	(株)コンチネンタル

令和2年度 「踊場公園こどもログハウス」 収支予算書兼決算書

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	8,088,000		8,088,000		8,088,000	横浜市より
利用料金収入	0		0		0	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	0		0		0	
自主事業収入	0		0		0	
雑入	410,000	0	410,000	0	410,000	
印刷代	10,000		10,000		10,000	
自動販売機手数料	0		0		0	
駐車場利用料収入	0		0		0	
その他（預金利子、図書カード等）	400,000		400,000		400,000	補助金
収入合計	8,498,000	0	8,498,000	0	8,498,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	6,818,000	0	6,818,000	0	6,818,000	
給与・賃金	6,768,000		6,768,000		6,768,000	
社会保険料	14,000		14,000		14,000	
通勤手当	36,000		36,000		36,000	
健康診断費	0		0		0	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	0		0		0	
事務費	346,000	0	346,000	0	346,000	
旅費	5,000		5,000		5,000	
消耗品費	82,000		82,000		82,000	
会議賄い費	2,000		2,000		2,000	
印刷製本費	7,000		7,000		7,000	
通信費	104,000		104,000		104,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	60,000		60,000		60,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	3,000		3,000		3,000	
職員等研修費	2,000		2,000		2,000	
振込手数料	1,000		1,000		1,000	
リース料	70,000		70,000		70,000	コピー機、印刷機、AED等
手数料	10,000		10,000		10,000	
地域協力費	0		0		0	法人会計に計上
事業費	395,000	0	395,000	0	395,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	380,000		380,000		380,000	
自主事業費	15,000		15,000		15,000	図書購入費
管理費	488,000	0	488,000	0	488,000	
光熱水費	0	0	0	0	0	
電気料金	0		0		0	
ガス料金	0		0		0	
水道料金	0		0		0	
清掃費	200,000		200,000		200,000	
修繕費	37,000		37,000		37,000	
機械警備費	123,000		123,000		123,000	
設備保全費	128,000	0	128,000	0	128,000	
空調衛生設備保守	0		0		0	
消防設備保守	4,000		4,000		4,000	
電気設備保守	33,000		33,000		33,000	
害虫駆除清掃保守	33,000		33,000		33,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	58,000		58,000		58,000	
共益費	0		0		0	
公租公課	321,000	0	321,000	0	321,000	
事業所税			0		0	
消費税	321,000		321,000		321,000	
印紙税			0		0	
その他（法人税）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	130,000	0	130,000	0	130,000	
本部分	100,000		100,000		100,000	労務、会計、契約、人事等の管理運営費用
当該施設分	30,000		30,000		30,000	諸費
二一ズ対応費	0	0	0	0	0	
支出合計	8,498,000	0	8,498,000	0	8,498,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		

管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		